

# 琉球大学学術リポジトリ

## 台湾に固有の単型属植物の分類学的再検討－タイヤルソウ属Hayataella（アカネ科）

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学21世紀プログラム 公開日: 2007-07-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中村, 剛, Chung, Shih-Wen, 國府, 方吾郎, 傳田, 哲郎, 横田, 昌嗣, Denda, Tetsuo, Yokota, Masatsugu メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/805">http://hdl.handle.net/20.500.12000/805</a>

台湾に固有の単型属植物の分類学的再検討  
 -タイヤルソウ属 *Hayataella* (アカネ科)

中村 剛<sup>1)</sup>・Shih-Wen Chung<sup>2)</sup>・國府方吾郎<sup>3)</sup>・傳田哲郎<sup>4)</sup>・横田昌嗣<sup>4)</sup>

<sup>1)</sup> 琉球大学大学院理工学研究科      <sup>2)</sup> 台湾 行政院農業委員会林業試験場生物系  
<sup>3)</sup> 国立科学博物館 筑波実験植物園      <sup>4)</sup> 琉球大学理学部海洋自然科学科

台湾の維管束植物相は、豊富な種数(233科 1355属 4220種)に比べて固有属は4属と著しく少ない(Hsieh 2002)。このうち、タイヤルソウ属 *Hayataella* Masam. はアカネ科の単型属で、石灰岩地域に稀産する(Masamune 1934; Shimizu 1963)。タイヤルソウ *H. michelloides* は、1~2個の頂花をつける矮小な草本で、朔果の形態からサツマイナモリ属 *Ophiorrhiza* と近縁と考えられたが、匍匐性が強いことなどから新属として記載された。以降、多くのフロラ研究や分類学的研究において両属は区別されている。近年、*Hayataella* を *Ophiorrhiza* の異名とする提唱がなされたが(Lo 1998)、これには調査した標本が明示されておらず、原記載の記述に基づく見解である。*H. michelloides* は、過去数十年にわたり採品がなく、近年まで台湾の標本庫に標本が収蔵されていなかったことから、系統学的再検討がなされていない。本研究では、サツマイナモリ属との関係や分類学的取り扱いを明らかにする目的で、基準産地と同じ花蓮県から新たに採集された *H. michelloides* と台湾および日本産のサツマイナモリ属4種について、核リボソームDNAのITS領域、葉緑体DNAの *atpB-rbcL*, *trnK/matK* 領域に基く、分子系統解析を行った。なお、サツマイナモリ属には下位分類が提唱されており(Schumann 1891)、解析した4種のうち、ヤナギイナモリ *O. hayatana* とサツマイナモリ *O. japonica* は苞葉が発達することから *Bracteolatae* に、リュウキュウイナモリ *O. kuroiwai* とチャボイナモリ *O. pumila* は苞葉が発達しないことから *Ebracteolatae* に該当する。

最節約法および Bayes 法による系統推定の結果、各領域に基く系統関係は(((*H. michelloides*, *O. hayatana*), *O. japonica*), (*O. kuroiwai*, *O. pumila*))で一致した。サツマイナモリ属は下位分類に対応して2クレードに分かれ、*H. michelloides* は *Bracteolatae* クレードに含まれ、*O. hayatana* とサブクレードを形成した。このことから *Hayataella* は単型属として扱わず、*Ophiorrhiza* に含めるのが妥当である。この系統的位置づけは、*H. michelloides* がサツマイナモリ属にきわめて特徴的な形質である、倒心形で強く偏圧し、頂部が長軸に沿って二裂する果実をもつこと、*Bracteolatae* に特徴的な発達した苞をもつことと一致する。*Hayataella* 属を設立する根拠とした形質が、繁殖器官に比べて系統を反映しにくい栄養器官のものであったことが、系統分類との不一致の要因といえる。近縁性が示された *O. hayatana* も台湾に固有であるが、*H. michelloides* とは萼表面の構造などから形態的に区別され、両種は明らかに別種である。本種の学名としては、*Ophiorrhiza michelloides* (Masam.) H. S. Lo を採用するのが適当である。